

ふれあい

特集：まだまだ続く
JAみちのく村山女性部活動



材料(2~3人分)

新ジャガイモ(下ゆでして半分に切り皮付きのまま素揚げしたもの)…	小8個
芽キャベツ(下ゆでして半分に切る)…	3個
ウルイ(細切りにする)…	2本
赤ジソふりかけ…	適宜
マヨネーズ…	大さじ2
ナンプラー…	小さじ1
酢…	小さじ1
砂糖…	小さじ1/2
塩昆布…	大さじ1

あえ衣A

作り方

- ボウルにAのあえ衣を混ぜ合わせる。
- 1のボウルに揚げたての新ジャガイモと芽キャベツ、ウルイを入れさっくりと混ぜる。
- 2を器に盛り付け、お好みで赤ジソふりかけを振り出来上がり。



みちのく
永井のおすすめ

永井哲（ながい・とねかず）
茨城県龍崎市にある「天膳（てんぜん）」
ツナハン監修人「ボーナー」シェフ



進めよう! 国消国産

(国)民が必要とし消費する食料は、できるだけその(国)で生産

【今回のテーマ】 「国消国産」はSDGsとどういった関係がある?

「国消国産」をすすめることは、食料の安全保障と持続可能な農業の促進を目標とするSDGsの達成につながります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 絶対的飢餓をなくす	2 絶対的貧困に終止符を打つ	3 すべての人々に健康と福祉を	4 食の安全・持続可能性をみんなに	5 ジンジャー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 持続可能なエネルギーをみんなに	8 繁栄がいつも人々を支えるように	9 経済と環境を両立させよう	10 人間の不平權をなくす	11 住む場所がみんなにまぎわしくなる	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な行動を	14 海の豊かさを守る	15 緑の豊かさを守る	16 学習と公正な働きをみんなに	17 パートナーシップで持続可能な世界を	SDGs

「国」民が必要とし「消」費する食料はできるだけその「国」で生「産」していく国消国産を進めることは、食料を輸入に依存しないことにつながり、延いては、輸送エネルギーや環境負荷を減らすことになります。

これは、SDGsのゴール2「飢餓をゼロに」、ゴール12「つくる責任つかう責任」、ゴール13「気候変動に具体的な対策を」に通じるものです。

国産畜産物を食べて日本の農家を応援し、国消国産を進めましょう。

耕そう、大地と地域のみらい。

ニュース展望台



▲多くの方が来店

▶イカ焼きをどうぞ！



売り出レイバンドを開催
2月15日、「JAグリーンおおいしだ」で売り出
しイベントが開かれました。山形県産豚肉やうど
ん・そばなどを特別価格で用意したほか、特設会
場では大石田農産物直売所「産直つなぎ」
いやねぎ、小松菜などの新鮮野菜を販売。その他
のコーナーでは「はいからさんのカリーーパン」や
町の魚屋さんによる「イカ焼き」などが販売され
ました。寒い中にもかかわらず多くのお客様が来店して
いました。

肥料・農薬などの展示相談会を開く

尾花沢経済事業所は1月29日、尾花沢営農センターで肥料・農薬などの展示相談会を開催しました。JAが取りまとめを行っている早期予約申込書に新たに加えた品目を中心に各メーカーが効力や使い方などを説明。イノシシなどの有害鳥獣に対応した電気柵の相談会も開かれ、訪れた生産者は次年度の生産に向けて、気になった商品の説明を熱心に聞いていました。

また、1月27日にはJA担当職員向けの肥料研修会を開き、水稻にかかる軽量一発肥料や秋落ち、硫化水素ガス対策について理解を深めました。



▲電気柵について相談



▲次年度に向けての相談会



▲農薬メーカーの説明を聞く来場者

令和4年度新採職員の顔合わせ会を開く

2月1日、JA本店で令和4年度新規採用職員の顔合わせ会が開かれ、JA役職員と新規採用職員内定者5名が出席しました。三浦康彦組合長は内定者に向けて「JAという組織を理解し、自分の考えをしっかりと持って行動すること。そしてわからないことは全て聞くこと。その精神が何よりも自分の成長につながる。このことを胸に刻み、明るい職員人生を歩んでほしい」と激励しました。

顔合わせ会ではJAの概要や心構えなども学び「自分を発信し続けることを忘れずに、組合員の皆様との関係を深め、地域に貢献できるように頑張ります」などと一人ひとり決意を述べました。今後は4月1日に辞令交付式が行われ、JA職員としての一歩を踏み出します。



▲豚肉を求めるお客さま

▶多くの方が来店

▶イカ焼きをどうぞ！



まだまだ続く JAみちのく村山女性部活動

特集

村山地区と大石田地区の女性部は手芸教室や体操教室、味噌づくり講習会など先月に引き続き、さまざまな活動を行いました。その様子をご覧ください！

2/4 横岡支部 ➤ * 楽しく！味噌作りに挑戦！ *

横岡支店で午前と午後に分かれて、毎年恒例の味噌作り教室を開きました。親指と小指でつぶれるくらいまで煮た大豆に塩切り米麹を混ぜ合わせ、大豆の煮汁で硬さを調整しながら機械で挽き、空気が入らないように容器へ詰め込んでいました。

仕込んだ味噌は風通しの良いところや温度が高くならない場所に置き、2ヶ月に一度は容器の中身を確認しながら、約10ヶ月でおいしい味噌が完成します。



▲煮た大豆に塩切り米麹を混ぜ合わせ



▲大豆の煮汁で硬さを調整し機械で挽く



▲空気を抜きながら容器に詰め込み

2/7 大高根支部 ➤ * 体操教室を開く *



▲体をほぐす運動

村山市にあるクアハウス拠点で体操教室を開きました。昨年12月に続いて2回目の開催となったこの日は、立ちながら誰でも簡単にできるストレッチ運動やスポーツマットを使用して、無理なく座りながら体をほぐす運動を行いました。

2/8 大石田地区女性部

* 手芸教室を開く *

大石田営農センターで手芸教室を開きました。同女性部では12月より月に1回、手芸教室を開催しており、今回は部員6人が参加して、お雛様ストラップ作りに挑戦しました。



▲ストラップ作りに挑戦



ニュース展望台



▲ウルイの目揃い会（大石田）



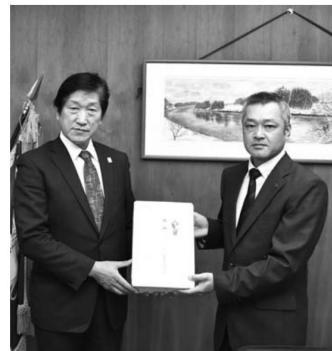
▲促成ハウスを巡回（尾花沢）

大石田営農センター山菜生産部会は1月28日、同営農センター集荷場でウルイの目揃い会を開きました。生産者6名と北村山農業技術普及課の担当職員が出席。生産者が持ち寄ったウルイのサンプルを手に取り、出荷規格や注意点などを確認しました。

また、尾花沢地区では2月1日にウルイ促成ハウスの現地巡回が行われ、生育状況や管理方法などを確認。ウルイの出荷は4月上旬頃まで続く予定です。



▲使用方法などを確認する生産者（左）と説明する全農・肥料メーカー（右）



▲激励品を手渡した三浦組合長（左）と生田さん

尾花沢営農センターは2月9日、水稻栽培においてドローン（小型無人飛行機）を利用している生産者を対象に、肥料や農薬などの説明会を開きました。説明会には個人や法人などの生産者と全農、肥料・農薬メーカーが出席。作業労力の軽減を目的にしたドローン散布による追肥と水稻除草剤（一発剤）について使用方法などを確認しました。

2月10日、JJAみちのく村山は第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会「美の国あきた鹿角国体2022」に山形県の代表として出場する当JA職員の生田秀治さん（尾花沢経済事業所所属）へ激励品を贈呈しました。JJA本店で開かれた贈呈式で三浦康彦組合長は「JJAの職員が県の代表として国体に出場することを大変嬉しく思う。怪我無く、楽しみながら滑ってきてほしい」と激励しました。

2月17日から開かれた本大会でジャイアントスラローム（成年男子C）に出場した生田さんは「入賞することはできなかつたが、周囲のレベルが高い中で自分の滑りを見せてることができた。今後もアルペンスキーの魅力を子供たちに伝えたい」と話していました。

国体に出場する生田さんへ 激励品を贈呈



▲説明を聞きながらスマートフォンを操作

1月28日、当JAの葉山支店で「第2回JAスマートフォン教室」が開かれました。auショップ村山駅西店にご協力をいただき、スマートフォンを使って電話のかけ方や文字の入力、写真・動画の撮影方法など基本的操作の他、スマートフォンでのアプリ活用術が紹介されました。参加した方は「初級編」ということもあり、初めて使う人にもわかりやすく説明していただいた」と話し大好評でした。

今後も他の支店での開催を予定しております。新型コロナウイルスの収束が見通せない中ではありますが、次回の日程が決まり次第、店頭などでお知らせいたしますので興味のある方はぜひご参加ください。

初級編といふこともあり、初めて使う人にもわかりやすく説明していただいた」と話し大好評でした。



▲除雪機で天井近くまで積み上げられていく雪

1月から2月下旬にかけて当JAの雪室施設「霧島温室倉庫」で雪の給雪作業が行われました。今冬も雪の量は十分で、村山営農センターの職員が本店敷地内に積もった雪をダンプやホイールローダー、除雪機を使いながら作業を実施。雪の冷気を利用して、貯蔵庫内の温湿度が適度な環境で保管されているお米は、年間を通して新米同様の食味と香りが維持されており、独自ブランド「みちのく雪むら米」として全国で販売されています。



▲ダンプで雪を搬入

雪の貯蔵量は約1,500トン



▲現地巡回で生育状況を確認

尾花沢営農センター山菜部会は1月31日、タラノメ栽培ハウスの現地巡回を行いました。昨年の11月19日から出荷が始まっているタラノメですが、今年度から初めて出荷する人も多いため、定期的に開催しています。今回の現地巡回では部会員同士で生育状況や管理方法などを確認し、充実した情報交換の場となりました。「品質日本一」と言われるタラノメの出荷は、4月下旬まで続く予定です。

タラノメ栽培ハウスの現地視察を行いました

ウルイの目揃い会を開く 現地巡回を開く

ドローン利用者に説明会を開く

国体に出場する生田さんへ 激励品を贈呈

《みちのく産直だより》 村山・尾花沢・ 大石田の産直情報をお届けします！

【村山】 産直ごてん広場

定休日・営業時間などはお確かめのうえご来店ください
山形県村山市碁点1052-3
◆お問い合わせ／0237-52-4150

産直ごてん広場

◀この看板が
目印！▼



栄養満点！新鮮な野菜を取りそろえております。

サラダやおひたしなど食卓に
もう一品いかがですか？



「啓翁桜」
や
「ストック」
もあります！



お家で「ポップコーン」



ご家族で映画を見ながらどうぞ！

【大石田】 産直つなぎ

定休日・営業時間などはお確かめのうえご来店ください
山形県大石田町桂木町7-3
◆お問い合わせ／0237-35-3232

「産直つなぎ」では新鮮野菜のほか、
手作りおこわや納豆餅などの加工品
も販売します。ご来店お待ちしております。

うるい



ほうれん草



小松菜



大石田産
来迎時在来の
そば粉



常時
販売中☆



おこわ



納豆餅



4月中旬より
店舗での営業スタート！



「産直つなぎ」では大石田地域の農作物を販売しています。冬期間はJAグリーンおおいしだの店舗そばに売り場を変更しています。4月中旬から店舗での営業を再開します。旬な野菜を取りそろえて皆さまのお越しをお待ちしております。

《みちのく産直だより》 村山・尾花沢・ 大石田の産直情報をお届けします！

道の駅
尾花沢 花笠の里 ねまる

営業時間／9:00～18:00
定休日／元日のみ
山形県尾花沢市芦沢1195-1
◆お問い合わせ／0237-24-3535

道の駅尾花沢



3月19日(土)～3月21日(月)

未来をつなぐ SDGs

道の駅尾花沢は地域・社会貢献活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

チャリティー鍋販売

チャリティー鍋の売上金は、地域の子供たちの食育活動などに利用されます。



おもてなし用お菓子
販売しております。

★地方発送・各種包装承ります。



春彼岸用
生花販売中



春野菜も
続々入荷中

もうすぐ春です。



営業時間 午前9:00～午後6:00
TEL 0237-24-3535 FAX 0237-25-2251

旬の商品を
取り揃えて
スタッフ一同
お待ちしてま～す！

【尾花沢】おばな産直館はいっと

定休日・営業時間などはお確かめのうえご来店ください
山形県尾花沢市新町5-8-71
◆お問い合わせ／0237-22-2211

「はいとへ来てけらっしゃい！」

はいとではお肉・お酒・漬け物などなど美味しい食料品が盛りだくさん

肉！【焼き肉・すき焼き・ステーキ・
しょうが焼きに！】

○山形牛や山形県産冷凍豚肉をはじめ、冷凍ホルモンなど美味しいお肉を常時取りそろえています。

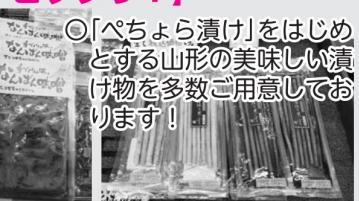
○ご贈答用の雪降り和牛・尾花沢牛・山形牛のご注文も常時承っております。

酒！【充実の
品ぞろえ！】

○尾花沢の地酒「幻酒 翁山」好評販売中です！



地元の味をぜひ一度
ご賞味あれ！

漬け物！【おかずやおつまみに
ピッタリ！】

○「ぺちょら漬け」をはじめとする山形の美味しい漬け物を多数ご用意しております！

新商品
入荷!! 農協牛乳商品・ごわれ煎餅
切り干し紅芯大根

